

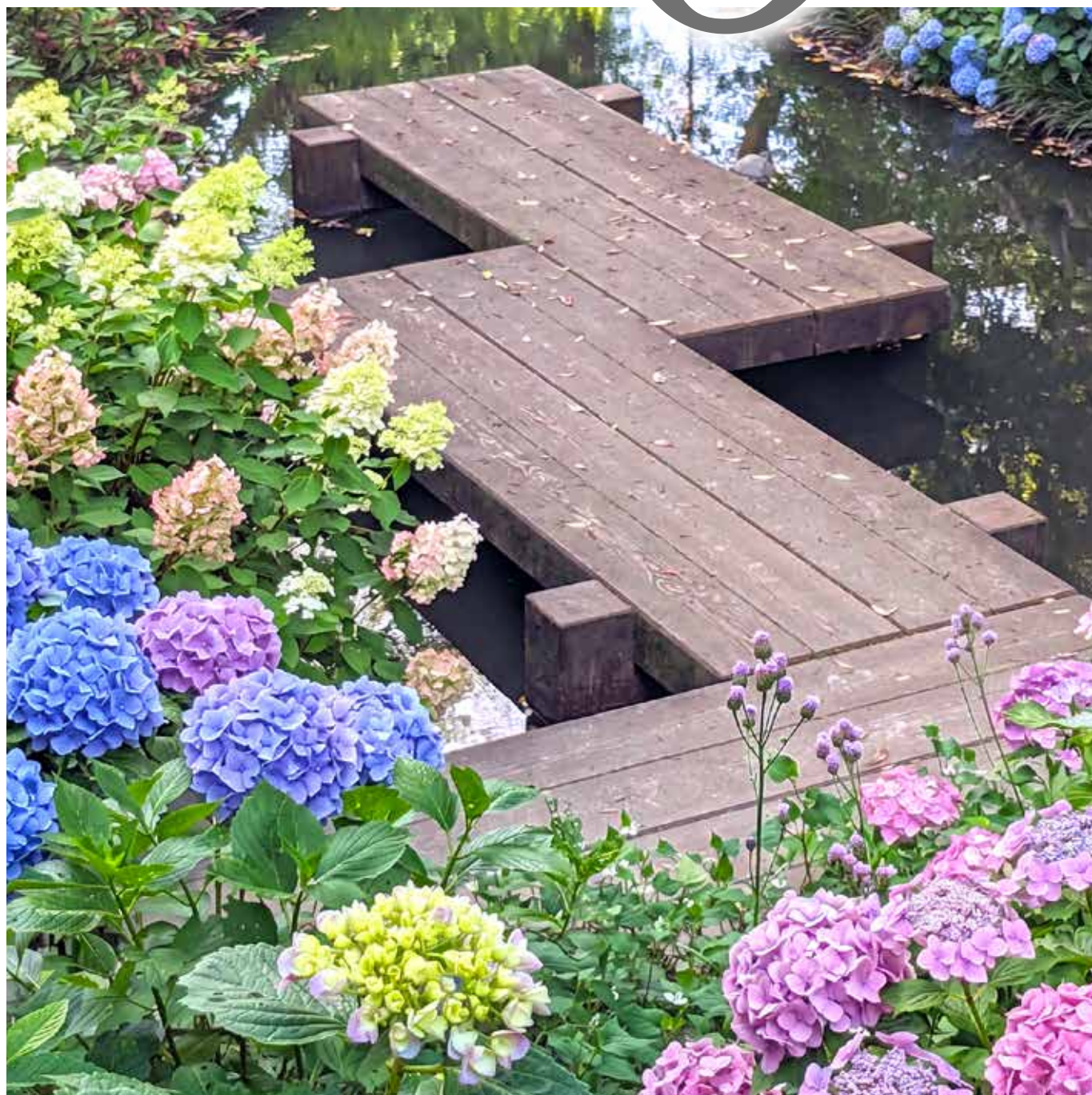
Rotary International District 2570  
GOVERNOR's Monthly Letter

2025-2026年度 Vol.12

# ガバナー月信

# 6

月号  
2026.6.10



葵庭園の紫陽花

📍 仙波東照宮  
(川越市小仙波町 1丁目 21-1)



**UNITE  
FOR  
GOOD**

# 1905年の原点に立ち返り、 奉仕を支える強固な絆を未来へ

*Returning to Our 1905 Roots, Carrying Strong Bonds of Fellowship into the Future*

2025-26年度 国際ロータリー 第2570地区 ガバナー

**相原茂吉** Aihara Mokichi  
(川越RC)

## 1905年、4人の若者が求めた「友情」

年度の締めくくりを迎えるにあたり、地区内すべてのロータリアン、そしてロータリーファミリーの皆様にご挨拶申し上げます。

今から120年以上前、1905年のシカゴの街は、急速な工業化の影には殺伐とした荒廃が蔓延し、人々の心の中は孤独と不信感の塊でした。そのような環境に身を置いた、青年弁護士ポール・ハリスが求めたものは、高度な奉仕理念ではなく、故郷ウィリングフォードのような、「互いに信頼し、助け合える純粋な友情と親睦」でした。

異なる職業の4人が集い、互いの事務所を「ローテーション（輪番）」で回りながら始まった小さな集いこそが、私たちの原点です。

ロータリーの歴史において、親睦（Fellowship）は奉仕（Service）に先立って存在していました。孤独な都会の中のオアシスとして始まった親睦の輪が友情に発展し、やがて「この仲間となら、社会のために何か良いことができるのではないか」という社会奉仕への念願・理念へと自然に昇華していったのです。

## 国境と職業を越える「ロータリー親睦活動」の精神

ロータリーにおける「親睦」は、単なるクラブ内の懇親に留まりません。

国際ロータリーが指定するこの月間は、共通の趣味や職業を通じて、世界中のロータリアンが国境を越えてつながる「ロータリー親睦活動（Rotary Fellowships）」を推進する月でもあります。

趣味の同好会から始まったこの世界的なネットワークは、時に地区を越えた災害支援や、国境を越えた国



際奉仕プロジェクト等の強力な足がかりとなってきました。

「職業が異なるからこそ尊重し合える、国籍が違うからこそ学び合える」。この多様性 diversity に基づいた寛容な精神・友情 (tolerance & friendship) こそが、分断が進む現代社会において、ロータリーが世界に誇るべき最大の財産であります。

## 一年間の感謝と、次代へのバトン

今年度再びガバナーとして、皆様と各地の例会や公式訪問、地区大会でお会いし、共に笑顔を交わした時間は、私にとってまさにロータリーの原点を感じる素晴らしい宝物でした。

皆様が日々の職業を通じて培った高い倫理観を持ち寄り、固い友情のもとで展開された奉仕プロジェクトの数々は、地域社会へ確実なインパクトをもたらしました。重ねて心より敬意を表します。

6月は年度の締めくくりであると同時に、次年度へバトンを繋ぐ大切な架け橋の期間であります。

ポール・ハリスと3人の仲間が築いたロータリー。一世紀以上にわたって先達が育み、守り抜いてきた「友情から始まる奉仕」のバトンを、私たちはさらに強固なものとして次世代へ引き継いでいかなければなりません。

皆様の友情に重ねて感謝致しますと共に、各クラブの益々のご発展と、ロータリーファミリーの皆様のご健勝を祈念いたしまして、私のガバナー月信最終号のメッセージといたします。

本当にありがとうございました。

### \*坂口ガバナーの事

昨年10月に病で倒れた坂口ガバナー。彼こそ正に「ロタキチ」だったのかもしれませんが。「ロータリーの基本はクラブである」と常に言い続け、特に「強いクラブづくり」を目標としておりました。そんな彼の思いは知らず知らずの内に周囲を巻き込んで、彼を中心にグループが生じてきたのです。

坂口さんは責任感が強く、クラブや地区の将来を考えて、新入会員はもちろんの事、ベテランに対しても「学び」の大切さ・心掛けを訴えてまいりました。それは長年の間に構築されたロータリーの精神や時代と共に変化するミッションや行動指針などであります。マンネリが活性化を阻害し、会員減少やクラブの衰退の原因である、会員ひとり一人がロータリーを好きになり楽しみそして学んでこそクラブの活性化につながると。そして、私達の未来を担う青少年活動に対し人一倍思い入れが強く、青少年奉仕やハラスメントなどに特に重きを置いていたのを感じます。

2020年度第一回目の相原年度で地区幹事を担っていただきましたが、当時はコロナ禍で世の中がパンデミックになっていたころです。万全の感染予防対策を備えて3大研修や地区大会を開催しましたが、彼の獅子奮迅の活躍なしにはできなかったと思います。

昨年11月の自分の年度の地区大会開催の成功をベッドの上で聞くと、安堵したように旅立たれた坂口さん。スティーブジョブスのように舞台を歩きながらスピーチする姿が目浮かぶようです。

## ロータリー財団委員会

## 第4回オリエンテーション

4月11日坂戸市文化施設「オルモ」に於いて相原ガバナー、五十幡直前ガバナーに出席を頂いて第4回オリエンテーションを開催しました。今回のオリエンテーションでは26-28年度派遣のグローバル補助金生中村悦子さんにネームプレート・名刺の授与式が行われました。続いて今年度の奨学候補生に対しグループフォーラムを実施しました。

グループフォーラムではロータリアンが二組に分かれて、奨学候補生2名がそれぞれの組の司会進行し・テーマは奨学生が決め・45分間のフォーラムを行いました。休憩をはさみ候補生が入替わり同じテーマで再開しました。次に内容を変えてフォーラム2を行いました。オリエンテーションは奨学生が留学に対し、マナー・ロータリーの知識・海外の注意事項等先輩のアドバイスを受ける貴重な体験になります。年5回程実施されます。最後に相原ガバナーより講評を頂き無事に終了しました

ロータリー財団委員会 統轄委員長 細淵克則（入間）



米山記念奨学委員会

# 米山記念奨学生及び

# カウンセラーオリエンテーションの開催

去る2026年4月5日（日）に坂戸市にある「坂戸市文化施設オルモ」にて米山記念奨学生及びカウンセラーオリエンテーションを行いました。1月に行った面接者31名の中から選ばれた優秀な留学生たち18名（継続2名含む）が集いました。米山記念奨学事業についてパワーポイントを使用し説明。皆さん最初は緊張した面持ちで話を聞いていましたが徐々にその緊張も和らいでいきました。その後、先輩学友による学友会についての話や、奨学生になってからの心構えなど、先輩ならではのアドバイスも頂きました。奨学生には米山記念奨学生になるべく確約書やその他書類にサインをして貰い晴れて彼らは奨学生になりました。お昼ご飯を取る頃には新奨学生同士でコミュニケーションも取っていたようです。

午後はカウンセラーさんとの初顔合わせと3分間スピーチです。それぞれカウンセラーさんと連絡先の交換をして世話クラブについて色々話を聞いていました。カウンセラーの役割や立ち位置などパワーポイントを使い説明。そして休憩をはさみ奨学生による3分間スピーチです。お題は「米山記念奨学生になって」です。継続奨学生から順に自己紹介を兼ねてスピーチ。スラスラと日本語でスピーチをする奨学生もいれば、緊張して話すのが止まってしまう奨学生もいて様々でした。米山記念奨学委員会の行事は毎月1回程度あり、少し先ですが9月には米山梅吉記念館研修旅行、10月は米山月間で色々なクラブに出向いて卓話をするチャンスが増えます。みな日本語が上手なのでこれからの成長がとても楽しみです。

2026-2027年度 米山記念奨学委員会統轄委員長 一柳達朗（入間）



RLI委員会

# ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI） ファシリテーター養成セミナー開催報告

2026年2月28日(土) 国立女性教育会館



2026年2月28日（土曜）午後1時30分、国立女性教育会館で、ファシリテーター（FT）養成セミナーが、相原茂吉ガバナーの点鐘により開催されました。

基調講演として、RLI日本支部副委員長高野孫左工門様より「FT養成セミナー」をテーマにお話を頂いた後、高野様がFT受講者6人が参加者となり、ファシリテーションの実技を行って頂きました。その後、参加者が交代でFTとなり、実技を行いました。

ご講演では、「RLIは一方的に教えるトレーニングではなく、参加者から考えや気づきを引き出すラーニングを重視しています。一つの物事でも、多様な物の見方、考え方、捉え方、表現の仕方を刺激として受け止めファシリテーションを行うことが必要です。」と話されました。実技では、対話を深める事により、発言者自身も気づかなかった意見を引き出すノウハウをご披露頂きました。

講評で、坂本RLI日本支部地区代表委員から、「参加者の方からRLIは楽しいとの発言があった、充実感の蓄積がロータリーでは大切」と話されました。

セミナー終了後の参加者の皆様は、受講前の不安は消え、自信満ちた表情に変わっていました。それぞれのクラブで、今後、質の高いリーダーシップを発揮されることと思います。引き続きFTとなってロータリーの旅を楽しんでください。

委員長 新井啓介（行田さくらRC）



第2グループ

# 都市連合会 (IM) 報告

テーマ『讃えあおう — 継承と発展 —』

2026年4月25日(土) 朝霞市民会館 (ゆめばれす)



創設者ポールP.ハリスの158回目の誕生日の4月19日に因んで開催月を4月とした今年度のIMは、朝霞市長松下昌代様をお迎えし、テーマを「来し方を鑑み、今此処の我を踏まえ、国際理解・親善・恒久的な平和へと続く将来を展望し共有しよう」という観点に立ち『讃えあおう』としました。さらに、国際ロータリー (RI) 会長エレクトの辞任、坂口孝ガバナーのご逝去等、枚挙に暇なきほどに激動する現況に対峙し、「何を継承し、如何に発展させるべきかという視点の確認と展望の確立」が喫緊の課題として浮上したため「継承と発展」をサブテーマに加えしました。



第一部は式典。故坂口孝ガバナーのスピーチ『クラブ強化と活性化のために行動して下さい!』を請け、その跡を継がれた相原茂吉ガバナーによるご尽力への顕彰。また、ご逝去になられた会員への追悼と新会員への歓迎、並びに前年度の島田敏郎・次年度の松岡昌宏の両ガバナー補佐への表彰などを以て、前年度から次年度への継承と発展への意識化を図りました。



第二部では、坂本元彦2014-15年度ガバナーより「ステファニー・アーチック2024-25年度RI会長が提唱した3-Year Rolling Target(長期ビジョン)とクラブ運営の連環」について、栗山昇1996-97年度地区幹事より「ガバナー補佐制度発足満25周年の経緯」



について、山田一郎2000-21年度初代ガバナー補佐より「制度発足当時の思い」についてなどシニア・リーダーのご講話を頂き、併せ会長・会長エレクト・新会員から各クラブのビジョンについての発表、重責を担われた歴代ガバナー補佐への顕彰などを以て第三部の懇親会へとつなぎ、「刻々と移ろいゆく世相のなかで、歩みを共にした朋友をここに刻み、やがて出会う未来に伍するために、いまここにいる私たちはともに讃えあい継承し発展する者でありたい」という願いを以てIMを結びました。



末筆ながら、本IMを意義あるものに築き上げてくださったすべてのロータリアン、分けても今回ホストクラブをお務めくださった朝霞ロータリークラブにここからの謝意を捧げ、如上報告とします。



文責：2025 - 26年度ガバナー補佐 大畑 茂 (朝霞ロータリークラブ)

ガバナー公式訪問

3/30  
(月)

# 和光 R C

会長 山邊 峰大

幹事 鈴木 早苗

桜の花が満開となった、うらかな 3/30 (月) に相原ガバナー訪問のガバナー訪問がありました。本来ならば故坂口孝ガバナーによるガバナー訪問が昨年 10/20 に開催予定でした。例会では相原ガバナーから故坂口ガバナーのロータリーに対する『志』と『尽力』を親友のみが知り得る裏話を織り込んでお話し頂きました。あらためて大切な逸材を失った哀しみがこみ上げてまいりました。特に印象深かったのは、『人生とは辛く苦労が多いものであるが、その先にやがて喜びが訪れ、心に温もりが宿るのだ』という相原ガバナーのお父様 (当地区 PG) のお言葉でした。弊クラブは 2026 年 6 月末日に解散となりますが、伺ったお話は、なによりの『はなむけの詞』となり強く心に残り感銘を受けました。多くの素敵な方々に出会えたことや当地区で多くを学ばせて頂いたことに心より感謝申し上げ、折角できたご縁を大切に新しいステージへと会員一同は進んで参ります。またどこかでお会い出来ますことを楽しみにしております。ごきげんよう。



## 表彰 Award Collection

PHF ボール・ハリス・フェロー

MD メジャードナー

MPHF マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

米山 米山功労者

PHS ボール・ハリス・ソサエティ

米山M 米山功労者マルチプル

BF ベネファクター

米山MD 米山功労者メジャードナー

MPHF x3

秩父



町田 靖夫

米山MD x9

志木



神山 昌之

米山M x5

志木



高橋 健一郎

米山M x5

志木



上原 実

米山M x4

志木



田中 幸彦

米山M x4

志木



坂間 智子

米山M x3

志木



西川 和人

米山M x4

志木



國分 学



# 表彰 *Award Collection*

- PHF** ボール・ハリス・フェロー
- MPHF** マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
- PHS** ボール・ハリス・ソサエティ
- BF** ベネファクター
- MD** メジャードナー
- 米山** 米山功労者
- 米山M** 米山功労者マルチプル
- 米山MD** 米山功労者メジャードナー

**米山** ×1



**志木**

**末富 啓道**

**米山** ×1



**志木**

**戸國 大介**

**米山M** ×2



**志木**


**深澤 好文**



# 新会員紹介 *New Member Introduction*

**川越**

氏名	<b>栃原 景春</b>
入会年月日	2026年5月12日
勤務先	(株)ホーナー
役職	代表取締役
生年月日	1961年2月21日
紹介者	栗林茂、町田明美



**川越**

氏名	<b>池田 淳志</b>
入会年月日	2026年5月12日
勤務先	武蔵野銀行 川越支店
役職	支店長
生年月日	1973年12月10日
紹介者	今泉博、相原茂吉




**川越**

氏名	<b>左達 一彦</b>
入会年月日	2026年5月12日
勤務先	日本生命保険(相) 川越支社
役職	支社長
生年月日	1979年6月19日
紹介者	片山幸雄、今泉博




**東松山**

氏名	<b>秋田 和宏</b>
入会年月日	2026年4月1日
勤務先	水戸証券(株) 東松山支店
役職	支店長
生年月日	1978年7月11日
紹介者	薄井章一




**志木**

氏名	<b>佐藤 豊</b>
入会年月日	2026年4月1日
勤務先	(株)埼玉りそな銀行志木支店
役職	支店長
生年月日	1976年9月19日
紹介者	名誉会員として入会




**新座**

氏名	<b>浅野 喜光</b>
入会年月日	2026年4月2日
勤務先	株式会社 朝昌管理
役職	取締役
生年月日	1963年4月24日
紹介者	宮川勝平・森田輝雄




**新座**

氏名	<b>小澤 康人</b>
入会年月日	2026年4月2日
勤務先	埼玉りそな銀行新座支店
役職	支店長
生年月日	1973年12月29日
紹介者	森克巳・森田輝雄




**日高**

氏名	<b>野村 成良</b>
入会年月日	2026年5月12日
勤務先	(株)ノア
役職	代表取締役
生年月日	1965年10月14日
紹介者	白井威




**日高**

氏名	<b>磯田 真哉</b>
入会年月日	2026年5月12日
勤務先	パートナーコーポレーション(株)
役職	代表取締役
生年月日	1967年11月7日
紹介者	鬼澤孝広




**深谷**

氏名	<b>永島 紀子</b>
入会年月日	2026年4月14日
勤務先	深谷山 瑠璃光寺
役職	
生年月日	1964年1月25日
紹介者	田島高久



**深谷**

氏名	<b>篠崎 壮登</b>
入会年月日	2025年4月14日
勤務先	(株)セキネ
役職	代表取締役
生年月日	1983年11月14日
紹介者	新道行



## 会員数

[2026年4月]

グループ	クラブ名	会員数				
		2025年度初め	2026年4月末	対年初増減	2026年4月末女性会員	M Y R C登録率%
第1グループ	川越	103	96	-7	5	45
	東松山	23	20	-3	1	100
	小川	4	3	-1	1	0
	坂戸	31	33	2	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	31	37	6	7	49
	鶴ヶ島	29	30	1	2	62
	川越中央	23	21	-2	0	33
	坂戸さつき	18	20	2	3	60
	東松山むさし	33	34	1	3	38
小計	316	315	-1	26	43	
第2グループ	朝霞	22	23	1	2	50
	志木	48	50	2	5	54
	富士見	40	40	0	0	48
	新座	25	27	2	3	23
	和光	4	5	1	1	80
	新座こぶし	10	10	0	3	70
小計	149	155	6	14	54	
第3グループ	入間	39	39	0	1	48
	所沢	68	66	-2	6	32
	飯能	68	67	-1	2	42
	新所沢	19	19	0	2	63
	日高	22	22	0	4	32
	所沢西	37	40	3	4	31
	新狭山	12	12	0	0	92
	所沢東	47	48	1	2	30
	入間南	39	42	3	1	55
	狭山中央	19	18	-1	5	37
小計	370	373	3	27	46	
第4グループ	深谷	56	61	5	13	43
	本庄	97	113	16	13	30
	秩父	54	52	-2	1	50
	寄居	34	33	-1	1	67
	岡部	19	20	1	2	70
	深谷東	74	71	-3	0	35
	皆野・長瀬	8	8	0	1	25
	深谷ノース	28	33	5	5	48
小計	370	391	21	36	46	
第5グループ	熊谷	97	97	0	4	50
	行田	52	53	1	5	16
	羽生	36	42	6	4	13
	加須	22	24	2	1	13
	熊谷西	6	6	0	0	50
	行田さくら	52	50	-2	4	67
	吹上	5	5	0	0	80
	熊谷籠原	27	27	0	0	41
	熊谷南	26	27	1	1	44
	小計	323	331	8	19	42
区地	合計	1,528	1,565	37	122	41

## スケジュール

### 6月

6 (土)	財団地区役員会議
7 (日)	米山学友総会 (予定)
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	国際大会 (台湾)
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	財団アプリケーションガイドス第5回オリエンテーション・歓迎会
21 (日)	青少年交換閉講式
27 (土)	年度末地区役員合同会議

### ガバナー月信 6月号 2025-2026年度 Vol.12

2026年5月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所  
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号  
ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長：菊池俊介 副委員長：荻原之彦  
委員：佐藤道晴 八木拓也 細田智也